

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成



ユネスコスクール便り

No.136

令和6年2月27日

大牟田市118スクール

担当者通信

特色ある実践事例の紹介

いのちを守る防災・減災学習 宅峰中学校

本校では、全学年で「防災・減災学習」に取り組んでいます。1年生では、市消防本部や防災危機管理室の方を招き、避難所開設実動訓練等テーマ別学習を行い、「自助・共助・公助」についての知識、技能を体験的に学び、中学生としてできることを考えました。2年生では、地震に対する防災・減災意識を高めるために、神戸市の「人と防災未来センター」で体験活動を行ったり、阪神・淡路大震災でのボランティア活動などの講話を聞いたりしました。3年生では、「救命救急講習」を受講することで、自他の「いのちを守る」ために必要な知識・技能を習得することができました。このように、災害に向けた事前の準備を行うことで、災害に強い地域づくりもめざしています。



避難所開設実動訓練を行う生徒

ペットボトルキャップで 世界とつながる 白川小学校

白川小学校では、全校で協力してペットボトルキャップの回収活動(iサイクル)に取り組んでいます。回収したキャップは、市内の坂西医院を介してリサイクル業者に届けられ、換金されます。そこで得た収益金は全額、特定非営利医療法人ISAPHに届けられ、アジアの途上国の人々の支援に使われます。1月には、ISAPHのスタッフの方やラオスの医療関係者の方が来校され、子どもたちの取組が多くの人々の命や健康を助けていることを価値付けていただきました。子どもたちも、「自分たちの行動が、世界の誰かを助けているなんて、嬉しいな。」「もっとたくさんの人の助けになりたい。」と、意欲を高めていました。



ラオスの医療従事者の方々と交流する子どもたち

「銀水花いっぱい絆プロジェクト」 銀水小学校

4年生が「銀水花いっぱい絆プロジェクト」に取り組み始めてから、今年で6年目となります。銀水校区をよりよくするために活動されている地域の方々にインタビューしたり、一緒にノースポールの苗を育てたりしました。また、地域の偉人や遺跡について調べることをとおして、銀水校区への愛着を深めました。さらに、3学期は、育てたノースポールの花苗をお世話になった方々や地域の方々に贈り、感謝の気持ちを伝えると共に、花いっぱいの銀水校区を目指していきます。そして、自分たちでできることとして、①感謝の気持ちを伝えること、②元気な挨拶で地域を明るくすること、③ゴミ拾いや掃除をして地域をきれいにすることで、地域への愛着を深め、実践することの大切さを学んでいます。



地域の方と一緒に花を植える子どもたち